

# 平成25年度 事業報告書

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

## 1. 会員数の推移

1) 会員数 194 会員 (H25.12 末現在)

## 2. 会の運営状況

### 1) 総会

#### a) 総会の開催

区分	年月日	議案事項	審議結果	場 所 <参加人数>
通常総会	平成25年 2月1日	① 役員の改選について ② 平成24年度 事業報告及び 収支決算について ③ 平成25年度 事業計画及び 収支予算について ④ 記念講演	議案承認 " "	白兔会館  <84名>
		○ 交流会		<70名>

### 2) 役員会

#### a) 役員会の開催

年月日	内 容	場 所 <参加人数>	備 考
平成25年 2月1日	① 役員の改選について ② 平成24年度 事業報告及び収支決算に ついて ③ 平成25年度 事業計画及び収支予算に ついて ④ 意見交換	白兔会館  <31名>	第1回
8月26日	① 役員の改選について ② 活動状況及び今後の活動計画について ③ 意見交換	ホテルモナーク鳥取  <30名>	第2回

3) 産学交流事業

a) 地元産業界との交流会事業等の実施

月日	概要	場所 <参加人数>
2月22日	第6回琴浦町産学金官連携情報交換会 (振興協力会町内会員懇談会)	ホテル東伯イン <30名>
7月4日	西部地区会員懇談会	米子ワシントンホテル <48名>
	西部地区会員交流会 ○ 講演 産官学連携の優良事例の紹介 ～地元企業の夢を叶えます～ 課題名:「次世代型認知症判定・予防システムの開発」 発表者 (株)エッグ代表取締役 高下 士良 鳥取県商工労働部経済産業総室産業振興室長 森本浩之 鳥取大学医学部保健学科生体制御学 助教 谷口美也子	<62名>
	○ 交流会	<45名>
8月26日	会員交流会 ○ 講演 「鳥取県産農水産物を利用した食品開発の共同研究事例」 講師:鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授 渡邊文雄	ホテルモナーク鳥取 <48名>
	○ 交流会	<52名>
9月17日	鳥取大学生による鳥取県西部地域企業見学会 (鳥取大学キャリアセンター・米子商工会議所と共催)	鳥取ビブラコースティック、NOK(株)鳥取事業場、 寿製菓(株)、大山ハム(株) <14名> (学生11名、教職員3名)
10月18日	県外視察(広島方面)	マツダ(株)、広島大学、 エネルギー総合研究所、 (独)酒類総合研究所 <29名>
12月4日	第7回琴浦町産学金官連携情報交換会 (振興協力会町内会員懇談会)	トピアスイングパレス <28名>
12月10日	中部地区会員懇談会	ホテルセントパレス 倉吉 <24名>
	中部地区会員交流会 ○ 講演 「鳥取大学研究用設備の学外利用について」 鳥取大学 生命機能研究支援センター 統括マネージャー 本庄和志 「可変ホイールベース機構を用いた階段昇降可能な電動車椅子の開発」 鳥取大学 大学院工学研究科 准教授 竹森史暁 「施設園芸学研究室の取り組みとフィールドサイエンスセンターのご紹介」 鳥取大学 農学部附属フィールドサイエンスセンター 講師 近藤謙介	<42名>
	○ 交流会	<35名>

b) 鳥取大学産学交流事業への支援

月 日	概 要	場 所
9月6日 9月7日	とっとり産業フェスティバル2013&鳥取環境ビジネス交流会2013	コカ・コーラウエストスポーツパーク（鳥取県民体育館）
随 時	産学交流事業等資料作成	鳥取大学 産学・地域連携推進機構

c) 会員への情報提供（郵送による）

- ・鳥取大学各種冊子、行事等の案内チラシを随時送付。

d) 研究シーズ開発等支援経費

（補助額 300 千円／件（内訳：協力会 100 千円、会員 100 千円鳥大 100 千円））

No	採択企業名	研究課題名	研究代表者
1	（株）ウィードメディカル	階段昇降用車椅子の安全性を確立する研究	工学研究科 准教授 竹森史暁
2	（株）明治製作所	鋳造ハンマー作業の訓練用シミュレータ開発	工学研究科 助教 櫛田大輔
3	（有）錦海化成	「フィッシュソリュブル」の農業分野における有用性実証実験	農学部 准教授 上中弘典
4	（株）エッグ	南部町住民健康データベースを元にした健康指導施策研究	医学部 教授 谷口晋一
5	（株）楽人	ハイオレイックヒマワリオイルによる皮膚保湿効果	医学部 教授 深田美香
6	（株）A & M	冷水循環式人体冷却装置（フルードクール）の開発	医学部 特命准教授 植木 賢
7	大山メディカルハーブ(株)	鳥取県大山町産植物「エキナセア」に含まれる、抗インフルエンザウィルス活性成分の絞り込み	医学部 教授 景山誠二